

FHN diary

2025
SUMMER

vol.01



モデルハウス 瑞雅

金属メッシュ陶板 2009年／小高辰也 TATSUYA KODAKA



夏の光がルーバー越しに差し込む中、作家の工房がある蓼科の澄んだ空気や涼やかさが宿り、繊細で奥行きのある表情を見せています。



FHN diary vol.1

2025年8月1日発行 発行元／フロンヴィルホームズ名古屋 名古屋市昭和区上山町4丁目3番地2 TEL.052-890-9630



アートと出会う、特別な数日間

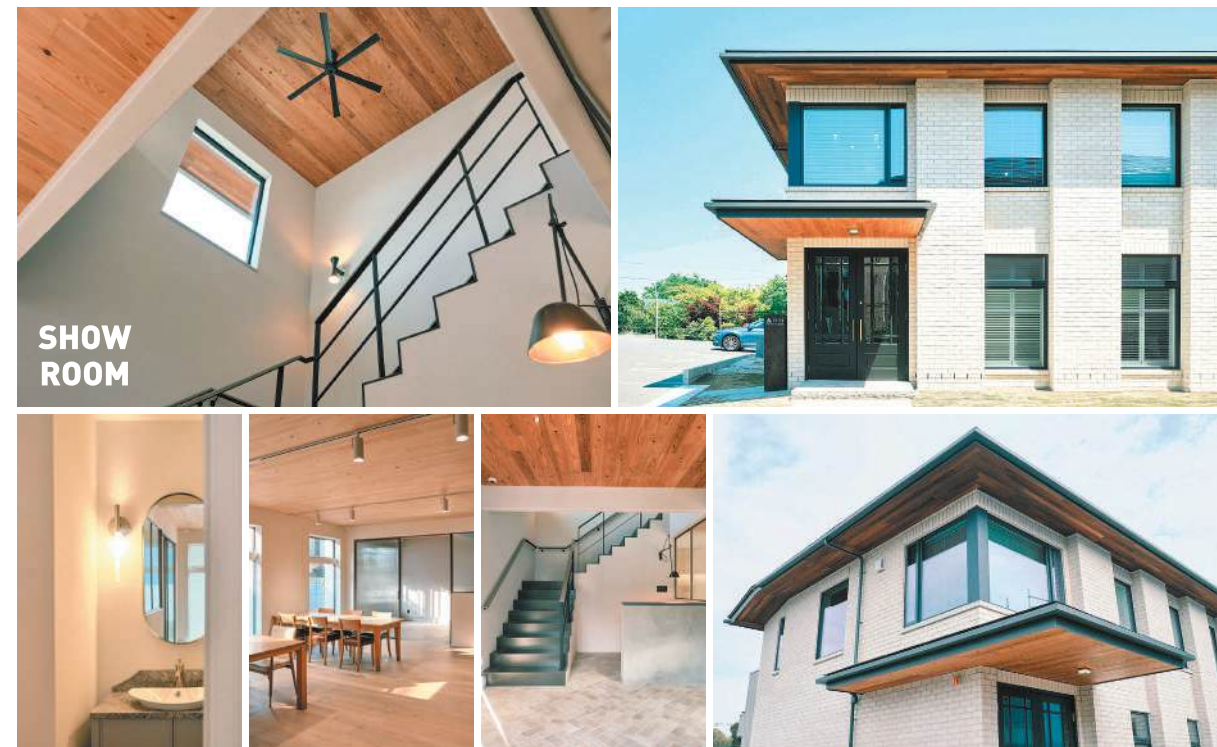
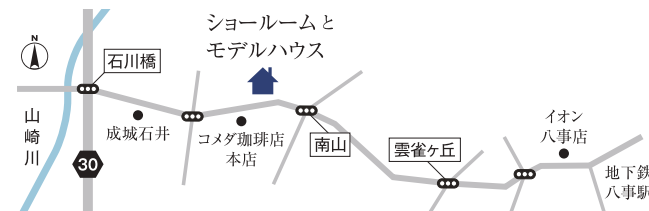
これまで私たちが様々な空間でコーディネートしてきた絵画アートたち。
モデルルームや撮影シーンを彩り、その場の空気を引き立ててくれた作品の数々を、
このたび、ご希望のお客様にお求めいただける機会をご用意いたしました。
新たな場所で、また誰かの暮らしに寄り添ってくれたら——
そんな想いから生まれた、少し特別なイベントです。



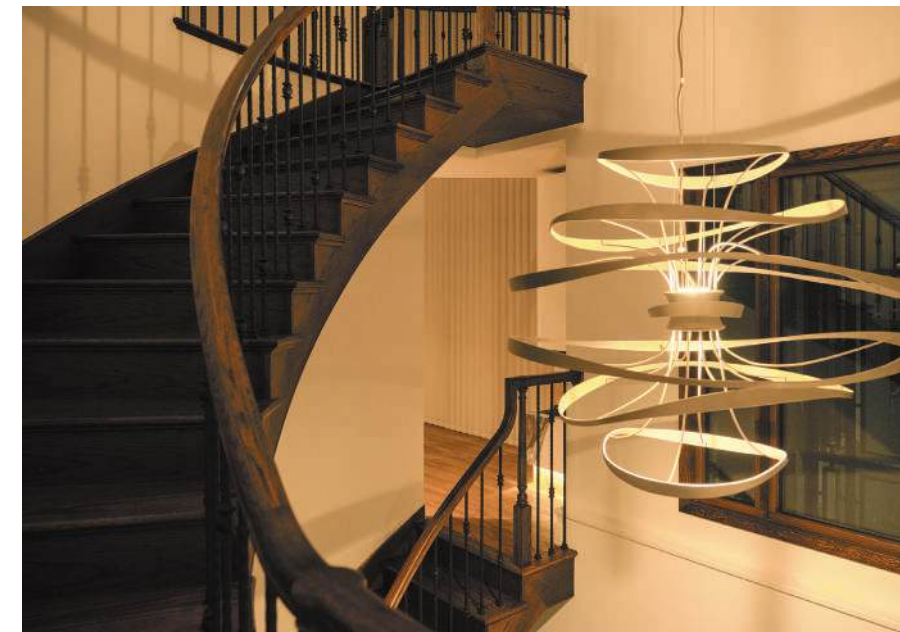
アート作品は他にも
ご用意がございます。

日時 2025年 9月5日(金)・6日(土)・7日(日)
AM10:00~PM3:00

会場はこちら フロンヴィルホームズ名古屋ショールーム
名古屋市昭和区上山町4丁目3番地2



白レンガの端正な外観と深みのあるブラックの玄関ドア。木の質感と力強さをそのままに活かし、重厚感と温もりを建物全体に与えた設計デザインです。大阪・関西万博の大屋根リングと同じCLT(直交集成板)を構造体を使用し、天井と軒はそのまま表わし仕上げにしています。



三層吹抜けの玄関ホールに、二層にわたって弧を描く螺旋階段が浮かび上がる。



高さ5mの門扉枠、開口ガラス越しにシャンデリア照明が見える演出を設計。



空間の中心に配されたライトが、縦の広がりを一層引き立て、モダンとクラシックが調和するラグジュアリーなエントランスに。

美しく磨かれたブラジル産の御影石の床が、柔らかな光を受けて優雅に反射し、全体に上質な輝きを与える。ぜひ実際の空間を体感しにお越しください。

瑞雅

Z U I G A



シリーズ モデルハウス 瑞雅

Pickup

エントランス

伝統的な美的理念を尊重しながらも、新鮮で若々しい感性を取り入れた、クラシックとモダンの融合をコンセプトにしたモデルハウスです。
大量生産や規格化とは一線を画し、唯一無二の素材と意匠を追求。
時間を重ねることに深まる美しさと、洗練された佇まいが調和した住まい。
本物の素材がもたらす風格・流行に左右されない普遍的なデザイン、
そして住むほどに心を満たす空間がここにあります。



オーナーズライフ

OWNER'S LIFE

13年目のリフォームで、暮らしはさらに快適に

新築から13年。お子様たちが巣立ち、ライフスタイルにも変化が訪れました。それに伴い、ご自宅も少しずつ手を加えながら進化しています。

バスケットゴールに、トランポリン、キャンプ小屋などお子様たちの思い出が詰まった賑やかな庭は、今回、愛車のためのスタイリッシュなガレージに生まれ変わりました。「せっかくなら、車を置くだけでなく、見た目にもかっこいい空間にしたいと思って」そんなご希望から、ガレージリフォームを弊社にご依頼いただきました。

「少し窮屈だった」というシャワーブースも、今回のリフォームで全面的に刷新。ラグジュアリーホテルで気に入られた仕様を参考に、インテリアコーディネーターと打合せを重ねながら、理想の空間

を実現されました。モダンな大判タイルで床と壁を贅沢に包み、透明なガラスドアで空間をすっきりと仕切った“大人の癒し空間、です。

リビングのソファでギターを弾く時間が、ご主人のお気に入り。こだわりのオーディオルームも、時代と技術の進化に合わせ、次なるリニューアルを構想中とのこと。

「装飾や造作はあとから変えられる。でも、構造や断熱性能は建てる時の判断がすべて。結局、家は基本性能が大事!」とご主人。堅牢な構造、重厚な建材、そして全館空調による温度湿度管理について、建築時から変わらぬご満足の声は、住宅性能への信頼の証です。海外に暮らすお嬢様が帰省するたびに「この家、やっぱりいいね、快適!」と感嘆

されるというエピソードも、暮らしの質の高さを物語ります。

「家は建ててからが本当の付き合い。だからこそ、ずっと任せられる存在がいい」そう語るご主人は、日々のメンテナンスのほか、今回のリフォームも迷わずフロンヴィルホームズ名古屋を選ばれました。他社からの営業もある中で、変わらずご信頼いただけるのは、“建てた会社だからこそできる、一貫体制と対応力の賜物です。

家族構成が変わっても、趣味や価値観が変化しても、住まいが持つ“本質”は揺らぎません。年月とともに深まる愛着と信頼——それが私たちの願いであり、誇りです。

これからも、オーナー様の“今”に寄り添い続けます。



家で時間を、もっと豊かに



遊びの庭から、デザインガレージへ



住まいは“つくって終わり”ではない



シャワーブースは、ホテルライクに一新

「変えられない部分」にこそ価値がある



あかどうじクリニック



30年前に当社が施工した「かめいクリニック」様からのご縁で、建築のご用命をいただきました。近年、街なかが増えてきた、モダンな四角いフォルムのクリニック建築には、あまりそそられなかったという山田先生。内装は上質な木の温もりに包まれた、穏やかな空間に。白レンガの外壁は、清潔感のある明るい印象と、重厚感が落ち着きを添えています。丁寧な医療が、訪れる方にやさしく寄り添うクリニックです。

りんごの樹 cafe comodo



約20年前の新築以来、質の高い医療を求めて遠方からも多くの方が訪れる人気の「りんごの樹動物病院」。これまで何期もの増築工事に携わらせていただいています。今回は、災害時にベットと一緒に利用できる、防災施設の新設です。先行して、診察待ちのベット連れの方を主な対象としたカフェとして開店しました。



FHN Column 01

トータルコーディネーター 青木和子さんのご縁



会食の催しやパーティーイベントでのお料理やディスプレイなど、青木和子さんは、かれこれ30年にわたるご縁をいただいています。雑誌やテレビでたびたび紹介されるほか、東京丸の内にある三菱一号館美術館の展示でコーディネーターを手がけるなど、幅広い分野でご活躍中です。12年前からは、昭和区滝川町の「KOKO」にて、お料理やお花のレッスンを主宰。アーティストとの交流も深く、青木さんのセレクトする食器や花器はいずれも作家ものの逸品ばかり。訪れるたびに、新たな発見と感性が刺激される、そんな特別な場所です。



2025 SUMMER

2025年の夏、新しいモデルハウスのオープンを皮切りに、各地で地鎮祭・上棟式・引渡しなど、家づくりの節目となる現場が続々と進行しています。また、大阪・関西万博視察をはじめとする社外研修活動にも力を入れ、より豊かな住まいづくりへの学びを深める夏となりました。

PICK UP 道草日記

